

臨地実習【地域・在宅看護論実習】

所属担当/教員	衛生看護学院 看護科 教員		
対象学年/開講時期	第3学年/通年	単位数	2単位
履修の目的 地域で暮らす人々とその家族に対する健康と暮らしを支える看護の役割を学ぶ			
授業の形式	臨地実習		
授業評価の基準等	出席状況および実習状況を評価表に基づいて総合的に評価する。		
教科書・参考図書	これまでの看護全般の講義で使用したテキストおよび資料		

【授業計画・内容】

実習目標

- 1) 地域で暮らす人とその家族の暮らしを理解する。
- 2) 地域で暮らす人とその家族に対する看護の実際を理解する。
- 3) 地域で暮らす人の健康の保持・増進・疾病の予防のための方法を知る。
- 4) 地域包括ケアシステムにおける看護のあり方（継続看護）を理解する。
- 5) 多職種連携における看護職の役割を理解する。

実習内容（詳細については実習要綱の「地域・在宅看護論実習Ⅱ」を参照）

実習施設：各訪問看護ステーション、各居宅介護支援事業所、市町村

実習方法：

- 1) 各訪問看護ステーション
 - (1) 6日間行う。
 - (2) 受け持ちケースで看護過程の計画を行う。
- 2) 居宅介護支援事業所
 - (1) 1日間行う。
- 3) 市町村実習
 - (1) 3日間行う。
 - (2) 各地域局、健康の駅、各地域包括支援センターで実習を行う。